



## 安全・安心な農産物づくり推進協議会

3月21日(木)、安全・安心な農産物づくり推進協議会がJA秋田なまはげ会館で行われ、当JAの役員や行政、市場関係者らが生産履歴記帳運動や残留農薬などの検査の実績を確かめました。令和5年度の残留農薬検査の実施件数は79件、放射性物質の検査は13件で、生産履歴の提出率は100%でした。

参加者からは生産履歴のデジタル化などの話題も上がりました。生産者が記帳しやすいように様式の簡便化などを図りながら、農薬の使用方法の指導や生産履歴の検証などを引き続き徹底します。

📷 農産物の生産や検査の体制を確かめました



## 優良水稲種子生産共励会で三浦昭司さんに優秀賞

第32回秋田県優良水稲種子生産共励会で、(一社)耕壤会種子生産組合の三浦昭司さんが栽培した「サキホコレ」が優秀賞(東北農政局長賞)を受賞しました。表彰状が贈られ、高品質な水稲種子を生産する栽培技術の高さが評価されました。

秋田市上新城で水稲種子を手掛ける同生産組合では、4月11日(木)から18日(木)に「あきたこまち」や「サキホコレ」など約1万8000箱への播種作業が行われました。生産者は同地区の採種圃場で優良種子の栽培に汗を流し、管内外に供給されます。

📷 栽培技術や品質の高さが称えられた三浦さん

## 新役員の選任へ推薦委員会

当JAの役員の任期が今年6月に満了することに伴い、新しい役員を選任にかかる会議や委員会が管内各地で行われています。

4月4日(木)、地区役員推薦委員会が各地区で開かれ、地区それぞれに定められた人数の理事や監事の候補者を、各地区の役員推薦委員が協議して決定しました。

10日(水)には区域監事推薦委員会がJA秋田なまはげ会館と男鹿支店で区域ごとに行われ、役員推薦委員が監事の候補者を選出しました。

新役員は5月7日(火)の役員推薦会議などを経て、6月に開催する第7回通常総代会に附議のうえ決定します。



📷 1 …地区役員推薦委員会(若美地区)  
2 …地区役員推薦委員会(南地区)



📷 3 …区域監事推薦委員会  
(北東・南西・迫分地区)

キャッシュカード・通帳・証書などを紛失したときは

お取引のJA支店にご連絡ください  
営業時間外はJAバンク・キャッシュカード紛失共同受付センター 0120-411-180まで